



モエワ★カムイ 49

NO.

JULY 1997

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エゾクヌチ」のことです。

あさひやまどうぶつニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その10 アムールトラ 2.3

特集

旭山動物園の長老たち 4.5

30周年記念行事

本の紹介 6

動物園事情 拡大版 7

クイズ

できごと

編集後記 8

アムールトラ

Pantera tigris altaica

ぼくは、
動物大使
その10 ネコ科最大のヘビー級レスラー アムールトラ

アムールトラ
Pantera tigris altaica

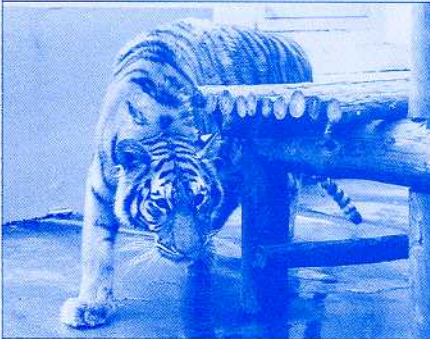
シベリアトラともいわれ、アムール、ウスリー、中国北東部の森林に生息している。シカやイノシシ、またハ虫類や昆虫など、何でも獲物にする。
アムールトラの野生個体数は近隣分布のチョウセントラと合わせても150~200頭と、その数は極めて少なく、絶滅の危機に瀕している。

旭山タイガース

ただ今お見合いの準備中、仲良くできるかな？



♂
96. 8. 1 福岡市動植物園生まれ
97. 7. 1 来園
まだ来たばかりの新人です。「北海道もけっこう暑いぜ」



♀ ノン
96. 4. 1 大阪市天王寺動物園生まれ
96. 6. 28 来園
旭山に来てはや1年。「早く彼氏に会わせてよ」

体

オスで全長3m以上、体重300kgを超える。トラの中でも最大級、メスは少し小さい。

尾

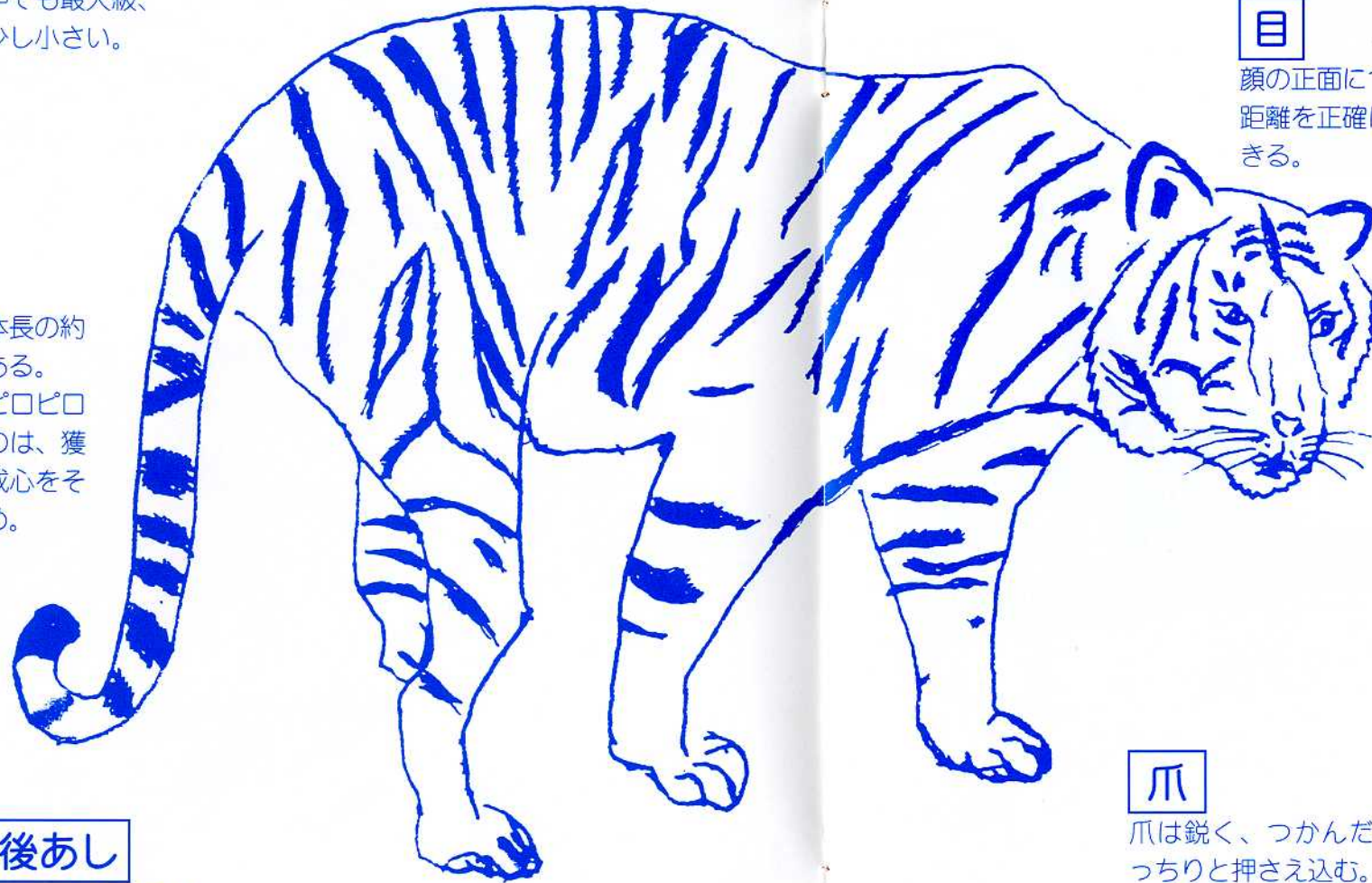
長い。体長の約半分はある。尻尾をピロピロ動かすのは、獲物の警戒心をそらすため。

後あし

前あしよりも長く、跳躍に適している。

もよう

しま模様は林やしげみの中で姿をかくすカモフラージュ。

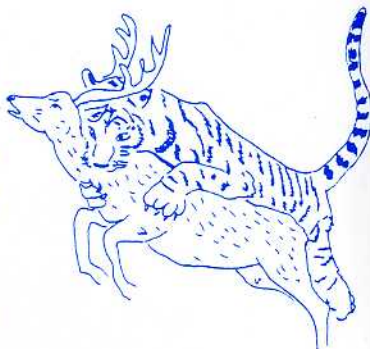


爪

爪は鋭く、つかんだ獲物をがっちり押さえ込む。普段は引っ込めていて、先が丸くならないようにしている。

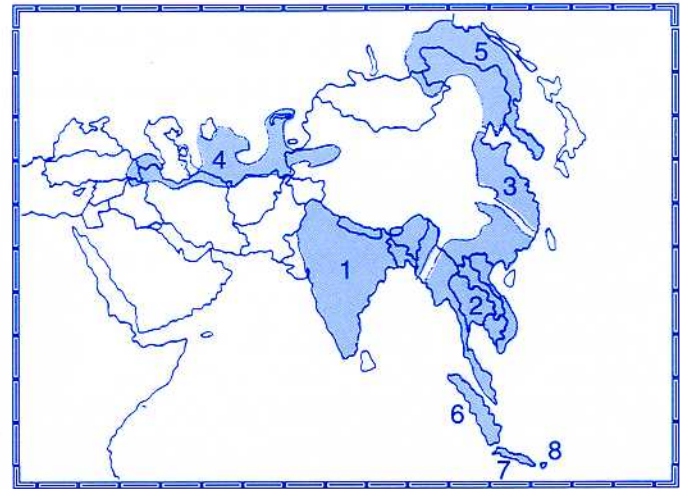
ハンティング

トラの狩りはチーターのような追跡型ではなく、そのしま模様でやぶにかくれ忍び寄る忍者型です。できるだけ獲物に近づき、一気におそいかり、時には自分の体重よりも重い獲物をたおします。チーターがランナーならトラはレスラーといったところでしょう。しかし狩りの成功率は低く、10~20回に1回しかうまくいかないようです。



トラの仲間

トラは現在8亜種に分類されているが、どの亜種も数が減っており、中にはすでに絶滅したとされるものもある。



- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ベンガルトラ | 2. マレートラ |
| 3. アモイトラ(絶滅?) | 4. カスピトラ(絶滅?) |
| 5. アムールトラ | 6. スマトラトラ |
| 7. ジャワトラ | 8. バリトラ(絶滅) |

毛

他の亜種に比べ、特に冬毛が長い。北方にすむ種ゆえの寒冷地仕様。

目

顔の正面につき、獲物との距離を正確に測ることができる。

ひげ

固くて長い。ネコ科の重要な感覚器官。

前あし

特に肩の筋肉が発達している。

水が好き

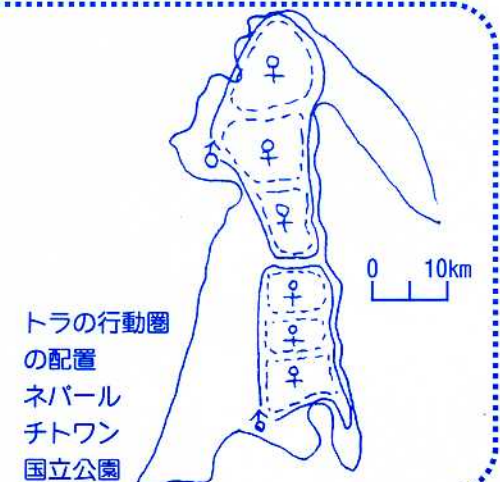
トラの生息地は湿地帯を含んだ森林地帯で、狩も湿地帯でおこなうことが多いのです。ネコ科の動物なのに水は得意で、泳ぎはもちろん得意で、暑い日は肩まですっぽり水につかり行水を楽しみます。



パトロール

トラは群れを作らない単独生活の動物です。オスもメスもなわばりを持ち、オス1頭のなわばりの中に、2~4頭のメスがそれぞれのなわばりをもって、繁殖期にだけオスとメスは出会い交尾をし、子孫を残します。

トラは終始なわばり内をパトロールし、とくに境界付近では念入りに尿を木などに噴霧してにおいをつけたり木に爪跡をつけマーキングをし、自分の行動圏をアピールします。このパトロールをなまけると、他のトラになわばりをとられてしまうのです。トラの社会もなかなかきびしいものです。



特集 旭山動物園の長老たち

旭山動物園は今年で30歳。今までにたくさんの動物たちを飼育してきました。今回はその中で、敬老の日になみ長生きしている動物の特集です。

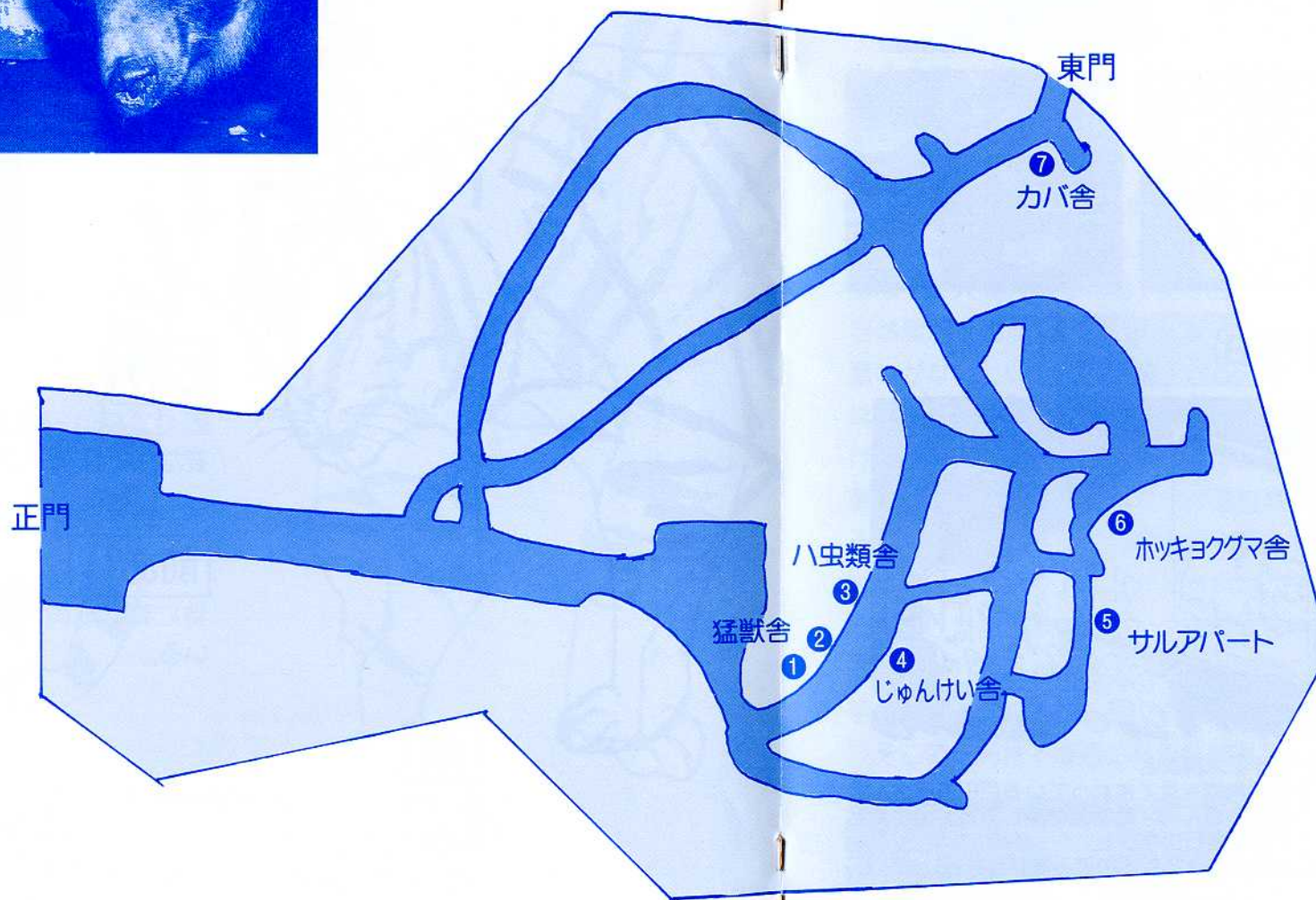
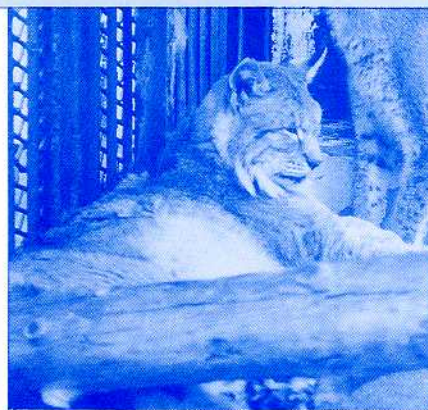
①ヒグマのメス

昭和43年9月30日旭山動物園に来ました。動物園に来る前は旭川駅で飼育されていました。そのころは飼育係が中に入って遊んだほど人慣れしていました。それからずっと一人暮らしだったので、昭和59年の年に今のオスと一緒にになりました。夫婦仲はあまり良くありません。と言うのも、このメスは一人暮らしが長かったのと、性格がおとなしいために今のやんちゃなオスとは合わないようです。



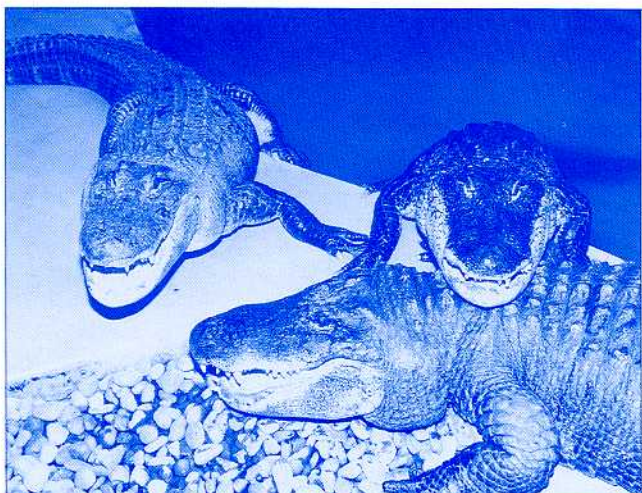
②シベリアオオヤマネコのオス

昭和54年生まれで旭山動物園には昭和63年に入園しました。ポーっとしている性格で、時々遠くを見つめて物思いにふけている事があります。夫婦仲が良く、毎朝顔を見るとお互いに頭をぶつけあうという独特の挨拶を交わします。最近少し体調が悪いようで、メスも飼育係も心配しています。



③ミシシッピーアリゲーター

このワニも開園からいる仲間です。開園の時は1.5メートルほどだったのですが、今ではかなり大きくなっています。今の場所へ引っ越しするときはアミでできた頑丈なゴミ箱の中にワニを入れて移動させました。一度今の場所へ引っ越してから高さ1メートル以上ある明かり取りの窓から逃げたことがあります。お客さんからはおとなしい動物に見えますが、飼育係が行くと「フー」と威嚇をして、油断しているとしばしば叩かれそうになるほど元気いっぱいです。



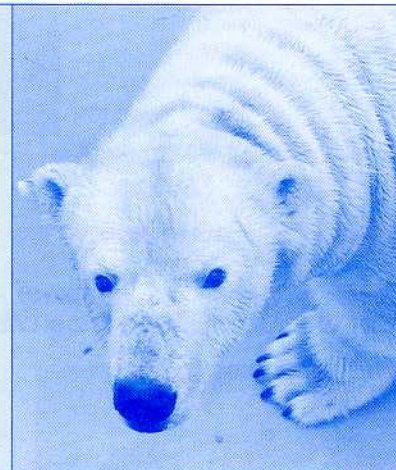
⑦カバ夫婦

この夫婦も開園からいます。日本の中でもこれほど大きいカバはそんなにいません。特にオスのゴンは日本一大きいんじゃないかといわれています。メスのザブコは姉さん女房で旭山動物園に来てからたくさんの子供を産みました。今いるナミコは11番目の子です。



⑥ホッキョクグマのオス (ポール)

昭和45年、北極生まれの個体で、札幌市円山動物園から平成7年に購入しました。来た当時はとても頑固で、なかなか寝室に入ってくれず飼育係を手こずらせてましたが、今ではだいぶ慣れてきました。同室のコユキとも喧嘩をせず、仲良くやっています。日本では最長老個体です。



⑤台湾ザルのオス (ピーター)

開園からいる動物です。開園当時子供だったピーターも今では30歳。サルの寿命から言えばもうおじいちゃんです。この動物園に来た頃は飼育係がつきっきりで世話をしました。それからいろんな事があり、一時は病気でもうダメだとまで言われたのですが、2度も大病を乗り越えたガンバリ者です。現在は少し体調を壊しており入院中ですが、また皆さんの前に姿を見せる日が来ると飼育係一同期待しています。



④アネハヅル

開園以来からいる動物の一つ。開園の時に旧ソ連から開園のお祝いに5羽頂きました。現在ではそのうちの2羽が元気です。北海道にいるタンチョウよりずっと小さなヅルです。初めのうちは天井にアミを張っていないオリで飼育していたところ、時々脱走してしまい、今のカモがいるフライングケージで飼育されていました。その後今の場所であるじゅんけい舎ができたときに、引っ越してきました。



30周年記念行事こんなイベントがありました。

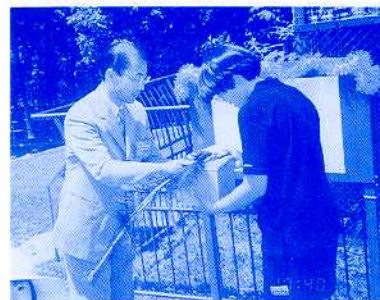
6月29日(日)



開園30周年
パネル展除幕式



開園日の昭和42年7月1日生まれの
佐藤祥晶さんが一日園長を勤めました。



アムールヒョウ、シロサイ、
オランウータンの命名式

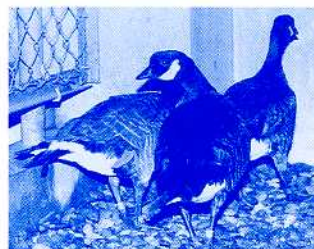


正面花壇の除幕式
幕が上手くとれなくて..

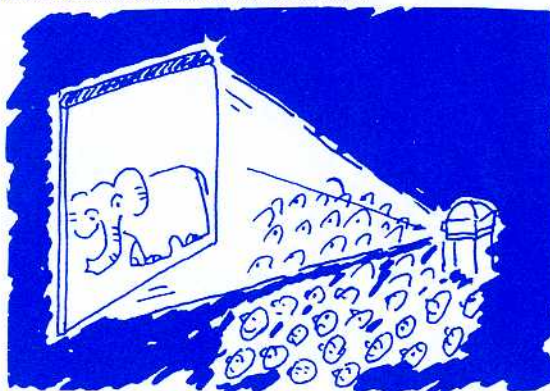
7月1日(火)

開園30周年を記念してたくさん
さんの動物がやってきたよ。
アムールトラ

福岡市動植物園
シジュウカラガン
仙台市八木山動物公園
ホシハジロなどのカモ類
富山市ファミリーパーク



7月6日(日)



開園30周年記念講演会
世界中の動物園を見てまわっている戸田杏子さんと
さとうあきらさんの「動物園の楽しみ方」のお話と
スライド上映を行いました。
旭川絵本の会による絵本の読み聞かせを行いました。

開園記念行事としてファンタジーエクスプレ
ス1階で「思い出のポスター展」、こども牧場か
らスタートする「これができれば動物博士だ！」
クイズを8月31日まで行っています。



本の紹介

「きたの動物園」 定価1,200円

旭山動物園前園長 菅野 浩 著 / 元飼育係 あべ 弘士 絵
発行 (株)旭川振興公社
旭山動物園の30年の歴史、動物たちのエピソード、飼育係秘話など
面白い話がたくさんです。

動物園事情 拡大版

野生復帰計画

野生動物が日に日に減少し続けていることを知識として知っている日本人は、ずいぶん多くいると思う。しかしながら「どうしたら良いのか」を考える人は、そう多くはないようだ。その多くの中にも意見は分かれる。

「野生動物が安心して生き続けるような環境を残すことが大切だ」もちろん異論があるはずがない。「少なくともってしまったものは、捕獲して動物園などへ収容し増殖を図るべきだ」となると異論が多くなる。「動物園に残っていても、自然界で見られなくなっては意味がない」、「自然破壊論者は動物園にいるから十分だという言い方をするので、彼らへ口実を与えるだけだ」、「動物園で囚われの身になるくらいなら、いっそ絶滅した方がいい」、「生物の進化の歴史をみても、動物には、それぞれの種の寿命があり、いたずらに人間が手を出す問題ではない。絶滅は自然現象なのだ。」等々考え方は千差万別だ。

しかしながら、人類の歴史を知る限り、野生動物を絶滅へ追いつめていく大きな要因は、種の寿命ではなくて人間の社会活動であると思われる。また、自然環境が残っていないのに動物だけ生き残っても意味がないというのも暴論すぎる。自然環境の復元は、非常に難しいことは承知しているが、時間をかけて復元の努力をしていくべきであるし、復元の目標を例えば「トキが生きていける自然」と設定できると思う。もちろん「自然環境の悪化を防いで野生動物を守っていく」ことができれば、それが最善であることは言うまでもないが、現状を考えると地球規模で進行する自然環境の破壊を確実にくい止める手だてはありそうもない。



そこで、飼育下増殖の必要性が唱えられるわけだが、それだけでは不十分である。飼育下の個体群を維持する

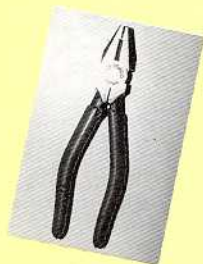
ことも大切であるが、野生復帰技術の確立も平行して行っていかなければならない。というのは、野生復帰とはただ放せば良いというわけではなく、動物が放された自然環境の中で生存し、増殖してくれなければ野生復帰を果たしたとは言えないからだ。この技術は、現状では「試みている」程度としか言えないと思う。これからの試行錯誤によって形作られていくものだ。理論通りに動物の野生復帰がかなえられるとは思えない。試行錯誤には失敗は付きものなので、なるべく早いうちに、また、十分な個体が残されているうちに、野生復帰技術を確立しておく必要があるのだ。



先日、オジロワシの野生復帰へ向けて、プロジェクトチームが発足した。大学、研究者、博物館、動物園そして環境庁と北海道庁がそのメンバーである。オジロワシ野生復帰プロジェクト会議では、野生復帰の手法を考え、実行し、記録し、検討を加え、オジロワシの野生復帰技術を確立することを目標とした。動物園生まれのオジロワシが大空を飛翔する日が、そう遠くないことを願っている。

クイズ

旭山動物園の飼育係が勤務中、全員が必ず携帯しているものは次のウチどれか？



1. ペンチ



2. 小型無線機



3. 小型電子計算機



47号の正解者

正解は2番でした。
キーホルダー当選者
花田 稚朱さん
立原 潤くん
鈴木 雄馬くん

48号の正解者

正解は2番でした。
辻尾 優子さん
土田 裕也くん
宮本 縁さん

正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募×切 1997年8月31日

できごと

- 4月21日 オランウータン入園
- 4月24日 アビシニアコロブス
ミナミシロサイ入園
- 5月15日 ニホンザルベビーラッシュ始まる
- 6月8日 わくわくゲーム大会
- 6月22日 タイワンザルのピーター入院
- 6月29日 開園30周年記念 一日園長
- 7月1日 開園30周年記念日
福岡市動植物園より
アムールトラの寄贈
富山市ファミリーパークより
小型カモ類の寄贈を受ける
- 7月6日 開園30周年記念講演会
さとうあきら氏
戸田 杏子氏



命名者のみなさんでパチリ！

飼育動物数

(6月30日現在)

哺乳類	47種	200点
鳥類	101種	510点
爬虫類	10種	38点
合計	158種	748点

編集後記

「動物大使」はオランウータンの予定でしたが、都合によりアムールトラとなりました。特集は旭山の長老たちを取り上げてみました。開園当初からいる動物もほんのひとにぎりになりました。8月は13～16日まで夜9時まで開園しています。昼は寝てばかりの動物も夜は目が爛々と輝いています。ぜひ見に来て下さい。

モユク・カムイ No.49 平成9年7月31日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行 小菅正夫
編集委員 坂東元・中田真一・松島守・辻松淳二
印刷 谷川印刷株式会社 〒070 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653